

生物学特別講義A

先端生物学特別講義A

特別セミナー

日 時: 令和7年6月24日(火) 13:00～14:00

みちひこ

講演者: 小林 達彦 先生

筑波大学 生命環境系 教授

「オールドバイオ研究: 微生物・触媒・代謝」

概要: 生命活動において、実質的に重要な代謝機能を担っているのはタンパク質・生体触媒である。微生物にはまだまだ多くの未知なる現象が存在し、微生物および酵素触媒がもつ多様な潜在機能を探索・開発することは、有用物質を生産する上で重要である。今や、様々な微生物のゲノムがいとも簡単に決定される時代になり、我々はゲノム情報を利用した研究も一部進めているものの、依然として伝統的なスクリーニングをベースとしたオールドバイオ的アプローチの研究をメインに行っている。農芸化学は応用微生物学・応用生物化学・生物生産化学・生物有機化学・食品科学など幅広い分野をカバーするが、我々の研究はこれら全ての分野にまたがりつつある。

本講演では日頃、意識している以下の4点そして我々の研究成果を中心に（主として微生物のニトリル代謝研究を紹介し、最後に、近年行っている植物/食品由来化合物の微生物・酵素触媒研究について）発表させて頂く。(1)スクリーニングする; (2)見逃さない; (3)モノとして取る; (4)基礎研究と応用研究

*本セミナーは、統合生命科学研究科セミナーとして、プログラム共同セミナーの対象です。

なお、生物学特別講義 A 及び先端生物学特別講義 A の受講者は、今回のセミナーは、プログラム共同セミナーとしてではなく集中講義として受講することになります。

世話人: 統合生命科学研究科 荒川 賢治
お問い合わせ先: karakawa@hiroshima-u.ac.jp